

会議録

会議の名称	令和7年度第5回朝霞第五中学校学校運営協議会	
開催日時	令和8年3月17日（火）14時00分から15時00分まで	
開催場所	朝霞市立朝霞第五中学校 学校図書館	
出席者の職・氏名	委員7人（鈴木会長、片村委員、庄司委員、森泉委員、渋谷委員、金子委員、鈴木校長） 事務局2人（相澤教頭、筒井教諭）	
欠席者の職・氏名	要害副会長 松本委員	
議題	1. 今年度の振り返りと課題について 2. 来年度の学校経営方針について 3. 来年度の行事予定について	
会議資料	1. 次第 2. 今年度の振り返りと課題 3. 年間行事予定	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	■要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 校長 による確認	
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項	特になし	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会・挨拶

相澤教頭：開会の辞。

鈴木校長：

- 13日（金）に第47回卒業証書授与式を挙行し、110名の卒業生を送り出した。現在は1・2年生のみでの生活となっており、本日は2年生が球技大会を実施中である。
- 第5回となる本日の協議会では、1年間の振り返り（学校評価結果等の情報提供）と、令和8年度の学校経営の方向性・構想を示し、承認をいただきたい。

2. 協議1：今年度の振り返りと課題について（鈴木校長より報告）

① 体力向上の取り組み

- 学校評価を踏まえ、運動能力向上や「体を動かす楽しさ」への取り組み状況を分析した。
- 昼休みには約80名の生徒がグラウンドでボール遊びなどを楽しんでおり、テニス部の生徒がコートで活動するなど、自発的な運動が見られる。
- 雨天時はグラウンドが使えないため、学年入れ替え制で体育館を開放している。
- 運動意欲を高め、持続させるため、体育館に視覚的にわかりやすい運動のポイントを掲示したり、ICTを活用してフォームを録画・確認したりする工夫を行っている。結果として、年度当初に比べ運動に対する苦手意識を持つ生徒の割合が減少し、モチベーションの向上が見られる。

② 地域連携活動の現状と取り組み

- 学校評価において「地域との連携活動ができていない」との回答が散見されたが、実際には多岐にわたる連携を行っている。
- 専門的知見を取り入れるため、JICA、弁護士、銀行関係者、テレビ局などをゲストティーチャーとして招致した。
- 部活動等を通じた連携として、特別支援学級（6、7組）が第三小学校での販売活動を実施。また、文化部の合同発表会や、美術部が「朝霞のどんぶり王選手権」に合わせて駅前（マクドナルド向かいの公衆トイレ横の掲示板）で黑板アートを制作するなど、学校の枠を超えた活動を展開している。

③ インクルーシブ教育の視点

- 学びの質を高めるため、誰にでもわかりやすい授業の構造化、ICT（AIドリルやロイノートでの意見共有）の活用、協働的な学びから「探究型授業」への展開を進める。
- 心の居場所づくりとして、小規模校ならではの「役割を担うチャンスが多さ」を活かす。
- 特別支援学級と通常学級の恒常的な交流の実施や、多層的なセーフティネット（SSR、さわやか相談室、保健室等）の構築を目指す。

3. 協議2：来年度の学校経営方針について（鈴木校長より報告）

① 学校教育目標

- 前年度を踏襲：「進んで学習する生徒」「人の気持ちがわかる生徒」「自ら進んで体を鍛える生徒」

② 目指す学校像

- 「一人一人のよさや可能性を伸ばし、未来に向かって学び合い、高め合う学校」（後半部分を新たに追加）
- 単に一人一人に目を向けるだけでなく、それぞれの違いを認め許容し、その多様性が集まる学びのチャンスを活かすことを意図している。

③ 具体的な方策（4つの柱）

1. 個別最適な学び：誰一人取り残すことなく資質・能力を育成する。
2. 協働的な学び：多様な個性を掛け合わせ、新たな気づきや経験を得る。
3. 探究的な学び（新規追加）：A I時代など予測困難な社会において、人にしかできない力を育成する。総合的な学習の時間を要とし、全教員で取り組む。朝霞市内15校で推進される中、先行事例を出せるモデル校を参考にしながら取り組む。
4. ICTの活用：引き続き推進する。

④ 目指す生徒像・教育相談の充実

- 生徒像は「自ら考え、他者と協働して粘り強く取り組む生徒」を踏襲。
- 教育相談の充実（新規）：不登校や登校しぶりの生徒への対応強化。第三小学校で導入されている「SSR（スペシャルサポートルーム）」を、本校でも試験的に運用する。また、学級集団の満足度や居心地の良さを図る調査「QU」を新規導入し、面談等に活用する。

⑤ 目指す教師像・働き方改革

- 朝霞市の基本方針に基づき、持続可能な職員室を目指す。
- 統合型校務支援システム（C4t h）の活用、会議の精選と効率化、インターネットバンキングの導入等による業務負担の軽減。時間外勤務を月30時間、年360時間以内とする努力義務の達成を目指す。

⑥ 令和8年度 学校重点目標（仮）

- 「主体的に問いを立て、協働的に探求する生徒の育成 ～総合的な学習の時間における探究学習の充実を通して～」
- 部活動の地域移行については、令和10年度の完全移行を見据えた準備期間として取り組む。

4. 質疑応答・意見交換

金子委員：

教育相談の充実にある「SSR」の具体的な支援内容や考えについて教えてほしい。

鈴木校長：

既存の「さわやか相談室」は小部屋があり住み分けは可能だが、生徒が普段過ごす教室（特に4階の1年生）から遠いという課題がある。教室でパニックになってしまった子などが、アットホームに、臨機応変に避難して落ち着けるスペースとして、アクセスしや

すい場所にSSRを試験運用したいと考えている。

森泉委員：

探究的な学びは今の子供たちにとって非常に重要。ゲストティーチャーの取り組みと絡めてキャリア教育と連携し、1年生から社会人に触れさせる(3days等)と良いのではないか。また、QUの実施も良いが、1年生が入学してきた際に、中1ギャップや家庭の問題を聞き取る場として、スクールカウンセラー(SC)等との個別面談ができると良い。

鈴木校長：

SCだけですぐに対応するのは難しい面もあるが、さわやか相談室には複数名の相談員がいるため、実現に向けて形にしていきたい。1年生への実施の必要性は強く感じている。

金子委員：

新入生はどの小学校から来る割合が多いか。来年度クラスが増えるとどのような生徒が入ってくるか心配な部分もある。これまでは穏やかな生徒が多かったが。

鈴木校長：

第三小学校が最も多く、次いで九小、七小となる。来年度は九小からの入学生が急増し、クラス数も増える見込み。事前に小学校からしっかりと情報収集を行い、生徒個々の情報を把握して対応していく。生徒数の変化に伴い、体育祭の実施方法や部活動の人数バランス等も適宜見直していく。

渋谷委員：

通常学級と特別支援学級の恒常的な交流について、地域連携が必要だと感じる。福祉作業所「ふれあいマルシェ」での本校生徒の演奏などは今後も続けてもらいたいし、職場体験(3days)でもぜひ交流を深めていきたい。

鈴木校長：

少しずつ規模を広げながら、地域との連携・交流を継続していきたい。

片村委員：

小学校からの長期欠席者は、中学校に入学すると登校できるようになるものなのか。

鈴木校長：

結論から言うとまちまちである。小学校での人間関係が原因だった場合、中学校で環境が変わることで登校できるようになるケースもある。また、部活動に目覚めて頑張れる子や、中学校進学という節目を機に登校できるようになる子もおり、今年の1年生でもそうした改善例が見られた。何に困り感を持っているか次第であり、それが解消されれば大きく変化する。一方で、特性や家庭環境によるものは改善が難しいケースもある。ただ、今回の卒業式でも、普段登校が難しかった生徒が式には参加できたり、第二部で証書を受け取れたり、学校との繋がりを持っていて姿が見られた。

5. 来年度の行事予定について(相澤教頭より報告)

令和8年度の主な年間行事予定は以下の通り。

- 4月：8日 始業式・入学式、22日頃 全国学力・学習状況調査(英語リスニ

ング含む)、24日 部活動本入部

- 5月：7日頃 埼玉県学力・学習状況調査、16日 体育祭、26日頃 第1回学校運営協議会
- 6月：25日頃 学校総合体育大会
- 7月：2日期末テスト（中間テストはなし）、14日頃 第2回学校運営協議会、17日 終業式
- 8月：31日 始業式
- 9月：4日 朝霞市スピーチコンテスト、6日～ 修学旅行（3年生・京都奈良）
- 10月：3日～ 新人戦、16日 中間テスト、26日頃～ 学校公開週間（第3回学校運営協議会）、30日 合唱コンクール
- 11月：20日 1年生校外学習、24・25日 3年生期末テスト
- 12月：3・4日1・2年生期末テスト、11日学級懇談会、24日終業式
- 1月：8日 始業式 13日～1年生職場体験（3days）、26日～2年生スキー林間（菅平高原）
- 2月：10日頃第4回学校運営協議会、19日 なかよし発表会（朝霞市民会館）、25・26日 県公立高校入試（面接全員実施）
- 3月：4・5日1・2年生学年末テスト、5日県公立発表、12日 卒業式、17日第5回学校運営協議会、26日 修了式

6. 閉会

相澤教頭：閉会の辞。今年度の協力に対する感謝と、来年度に向けた挨拶。
以上